



令和5年度 西海中学校だより

愛：西海 spirit ～前進～

校訓「自主・至誠・健康」 教育目標「自ら拓く心豊かでたくましい生徒の育成」

令和6年2月5日 第15号 西海市立西海中学校 校長 濱田 徳昭

第19回西海市少年の主張大会 1月27日（土）大島文化ホール

標記大会に本校代表として、1年1組平瀬 さんが出場し、最優秀賞にあたる「西海市長賞」を受賞しました。この大会は、令和6年度の「少年の主張長崎県大会」西海市予選会を兼ねていましたので、令和6年8月に予定されている県大会に、西海市代表として平瀬さんが出場いたします。

※2月2日（金）の長崎新聞に本大会、平瀬さんの記事が掲載されています。

「私の思い描く理想の社会」

1年1組 平瀬

総合学習のゲストティーチャーが「西海町は41.1%です。では、この数字は何を指していると思いますか？」との質問に私は、答えることができませんでした。

では、会場の皆さんは、この数字が何を示しているかお分かりになりますか。答えを発表しましょう。これは、西海町の高齢化率です。答えを聞いた時に私も、私の周囲の友達も思わず「え～、そんなに高いの」という驚きの声を挙げたことを覚えています。

実は、高齢化率とは、人口全体における65歳以上の方の割合をいいます。確かに、私たち人間は、年を取ります。それは、ごく当たり前の避けられない事実です。だからこそ、私は、この総合学習の高齢者疑似体験を通して、高齢者の方には、本当に心から親切に接する事が大切だと身をもって学びました。

しかし、この体験をする以前の私は、生活を振り返ると、祖母の家を訪れた時、少しテレビの音量が大きいので、うるさいなと思い、会話の途中で祖母から何度か「何？」と聞き返されると少し、もどかしくてイライラしたこともありました。この他、コンビニのレジ前、混雑など、皆さんも日常生活の中で、何かの拍子に、もどかしさを感じたことはありませんか。

この高齢者疑似体験では、耳をヘッドフォンで塞ぎ、目には視野が狭く、前が曇って見えにくいゴーグル、手には厚手の軍手、腰の曲がる装具、手足に重り、マスクを装着するとあら不思議、5分程の時間で中学生でもすっかりお年寄りに早変わりです。もう体は自由に動かさず、見えない、聞こえない、動きにくい体になりました。3階まで階段を上ってみると額から汗が噴き出しました。また、物干し体験では、腰が曲がって手が物干しに届かず、つま先立ちでクリアしました。次に体験したのは、財布から小銭を支払う体験です。軍手で財布から小銭が取り出せない、ゴーグルのせいで、お金の種類が見えなくて不自由でした。この体験で実際に自分の体が思うように動かさなくなって、初めて高齢の方のお気持ちが、心に迫りました。

その一方で元気はつらつと活躍されている方もいらっしゃいます。それは、学校行事のディキャン



プでグラウンドゴルフを敬老会の方と一緒に行いました。皆さん、日頃から練習されていて、中学生よりも上手でした。打ち方など、丁寧に教えてくださいました。高齢の方でも動きは軽やかです。

私は、元気な高齢者の方が増えたら、町の高齢化率が上がっても大丈夫ではないかと思いました。その為には、高齢の方が、いろんな世代の人と交流する場を設定することが大切だと感じました。

西海中学校では、長崎新聞にも掲載されましたが、敬老の日に絵手紙を届ける活動や、今年は、一年生が一人暮らしの方に心を込めて年賀状を書くという取組を行いました。この活動に、町内グラウンドゴルフ大会などを加えてはどうだろうかと思いました。

先日、私は生徒会役員選挙で生徒会副会長に当選しました。ですから、次の生徒総会で、新しい地域貢献活動を何か提案できたらなあと考えています。グラウンドゴルフだけではなく、手芸や伝統芸能などの講座もあればいいなあと思います。さらに、それだけではなく「SDGs」を意識した新しい取組も必要ではないでしょうか。

もし、高齢者の方が、町内の人と交流する機会が少ないのであれば、町内の皆で活動する場所や機会を積極的に創ったらよいと思います。地域の人と交流を深めることで、町全体の人との助け合いの気持ちが生まれ、それが発展すれば絆が生まれると思います。

この人々の絆こそが私の思い描く理想の社会です。元気なお年寄りが、活躍するパワー溢れる西海町になると、今、以上に西海町は魅力溢れる町になるのではないかと考えました。まずは、その新しい一歩を私から踏み出したいと思います。



審査委員長の平島小中学校：校長・山田 様から講評をいただきました。

発表者に感心したこととして

(1) 気付く力・・・様々な出来事を観察し、大切だと気づき、広げて関連付けられる力。そのことについて問いを立てる力。が備わっていると感じた。

(2) 聞き手に伝えようとする工夫・・・聞く人に問いかけや、身振り・手振りなど工夫があり、話す様子に決意や覚悟が見て取れた。

と発表者全員に共通していたことを話されました。

平瀬さんに対しては、8月に予定されている県大会への激励と「自分だけでなく、学校や町を巻き込んだ前向きな考え方が素晴らしい。」と褒めてくださいました。

平瀬さんは、事前の練習を担当の川口先生と行うなど、努力を重ねていました。当日は、原稿を見ずに笑顔で全体に語りかけるように話し、身振り・手振りを加えて伝えようと努めていましたし、聞く人たちは、その内容に引き込まれ、頷きながら聞いていました。大変、素晴らしい発表でした。今後も、優しい心で周りを見て、優しい西海中学校や優しい西海市にしていく努力をしていきましょう。